45
2016.03

新潟市建築設計協同組合　（官公需適格組合）
Niigata City Architects Union

MUTSUBI

目次

1．ごあいさつ

2．委員会報告

総務委員会　企画委員会　技術委員会　住・環境委員会
業務委員会　構造委員会　設備委員会　次世代委員会

3．作品紹介

「亀田地区コミュニティセンター」　㈱渋谷建築設計事務所

4．事務所紹介

㈲山口建築事務所

5．趣味のひろば

松田建築設計事務所　松田　道佳

index

NcAU：Niigata city Architect Union
新潟市建築設計協同組合

目次　・・・・・１

ごあいさつ（機関紙「睦び」４５号）　理事長　角南　邦彦　・・・・・１

委員会報告
　総務委員会　・・・・・２
　企画委員会　・・・・・２
　技術委員会　・・・・・２～３
　住・環境委員会　・・・・・３～４
　業務委員会　・・・・・４
　構造委員会　・・・・・４～５
　設備委員会　・・・・・５
　次世代委員会　・・・・・６

作品紹介　「亀田地区コミュニティセンター」
　（株）渋谷建築設計事務所　・・・・・７～８

事務所紹介　（有）山口建築事務所　・・・・・９

趣味のひろば　松田建築設計事務所　松田　道佳　・・・・・１０

ごあいさつ　新潟市建築設計協同組合　理事長：角南　邦彦

寒い日が続き、春が恋しいこの頃ですが皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年は丙申（ひのえさる）で、「形がはっきりする」「地が固まる」年なのだそうで、どちらかと言えば何かを始めるというより、「これまでの頑張りが形になって評価される」「あやふやな事にけじめが付く」いろんな意味で変革の年とされ、何かしらの時代が動くとされる年のようです。

まさに新潟市建築設計協同組合も、今までの頑張りが形になって表れる年にしなければなりません。４年前に次世代委員会が生まれ、２年前に若手で構成する企画委員会が生まれ、その行動結果が大きく膨らんできています。

１月２２日には「新潟市建築計画・設計技術研究会」が新潟市各課の若手技術者と我々民間の若手技術者が協同で、３部門のワーキング発表会を行い、素晴らしい結果を得ました。また、企画委員会では１か月に一回のペースで講師を招き、まちづくり勉強会を行い、方向性を模索し新潟市のために大きな収穫を得ています。今まさに私の持っているバトンを新しい世代に手渡し、**「組合の時代が動く」**年にしなければならないと感じています。

今後も組合員皆様のご理解とご協力を切にお願いし、ご挨拶と致します。

総務委員会　委員長：本間　裕之

組合員の皆様には日頃から組合の事業にご協力頂き感謝申し上げます。
今年度の総務委員会の事業内容からいくつかの内容について活動状況をご報告いたします。

1．平成27年度収支中間報告について
平成27年度の収支についての確認を行い、今年度の収支および決算見込みについて検討を行いました。今年度は組合にとって厳しい年となっていますが、今後の監理業務受注に向けての対応や方針を委員会で検討しています。

2．平成27年度組合員講習会について
組合創立30周年事業等の関係で2年続けて開催されていなかった組合員講習会（旧全員懇談会）を下記の日程にて開催しました。
日　時　　平成27年11月26日（木）～　27日（金）
会　場　　岩室温泉　「ゆもとや」
内　容　　各委員会活動報告
講演会「地方創生に向けた新潟の総合戦略」
講師　新潟市長　篠田　昭　様

組合員講習会　講演会風景

3．積算ソフトの継続的使用への対応について
現行のエクセル2003Var.（902C）に加えて、2015Var.（1505）が組合にあります。物件によって使い分けができるようになっていますので、組合員の皆様の活用を図っていくことにしています。

4．今年度プロポーザル事業について
今年度新潟市のプロポーザルについては「旧笹川家保存活用計画策定事業」と「旧二葉中学校校舎活用基本構想事業」の2件に参加しました。いずれも最優秀には選定されませんでしたが、既存のプロポーザルとは異なり、課題の数によるプロポーザルではないことから、組合としての支援についてもどのような形で参加者支援を行うか検討しました。

企画委員会　委員長：丸山　健一

平成27年度も後わずかとなりました。
組合員の皆様には、日頃より企画委員会に対しご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。
昨年の組合員講習会でも報告しましたが、新潟市が必要としている職能としての「まちづくり」検討は、当委員会が最重要と位置付けている事業となりますので、再度ご報告させて頂きます。

■まちづくり勉強会について■
全６回、６つのカテゴリー毎に、新潟市がどのような計画、施策、政策を行っているのか、また行おうとしているのかを研究しました。

開催日程とレポート表題は以下の通りです。
第1回：H27.5.25
「新潟市基本構想・新潟市基本計画
にいがた未来ビジョン」について
第２回：H27.6.22
「都市交通」について
第３回：H27.7.21
「景観まちづくり」について
第４回：H27.8.20
「都市空間」について
第５回：H27.9.25
「まちなみ保存・まちなか再生」について
第６回：H27.11.9
「土木景観・ランドスケープ」について

まちづくり勉強会・報告書
組合HPよりダウンロードできます

第１回目だけは、新潟市政策調整課の淡路氏に「にいがたし未来ビジョン」の解説講演でしたが、第２回目以降の表題についてレポートした報告書は、組合ＨＰに掲載されておりますので興味のある方は一度覗いてみて下さい。
次年度は“新潟市が必要としている職能としての「まちづくり」の検討”についてさらに踏み込んだ活動を委員一丸となって行っていく所存です。

技術委員会　委員長：加藤　新一

いつも技術委員会の活動にご協力をいただき大変ありがとうございます。今年度の事業報告をさせていただきます。

1．建物研修会
平成27年10月20日（火）「いくとぴあ食花」にて建物研修会を開催いたしました。

今回は、新潟市職員のご参加をいただけませんでしたが、組合員48名と多数の方々にご参加いただきました。施設の運営方針や展示物の説明など興味深い研修をさせていただきました。

動物ふれあいセンターにて

2. 実務者講習会

平成28年2月5日（金）新潟ユニゾンプラザ多目的ホールにて実務者講習会を開催いたしました。

【実務者講習会の内容】

・講　演　**「木材を使った建築物の最前線」**

京都大学　生存圏研究所　生活圏構造機能分野

教授　博士　五十田　博　様

五十田先生の講演風景

実務者講習会風景

五十田先生の熱い講演は、木造建築の可能性が大きく飛躍する素晴らしい教えをいただきました。
この講演には、新潟市職員、組合員のほかに他分野の方を含めて、220名にのぼるご来場をいただきました。
大変ありがとうございました。

講演会の感想レポートの抜粋を紹介します。

・CLTについてよく知ることができた。震動実験がおもしろい。詳しく見たかった。
・CLTを使用した建物の説明が聞けて良かった。
・木造建築はこれからも可能性がある事がわかった。
・耐震実験の動画・実例がわかりやすい説明でした。
・笑いを交えてお話をして頂いたので楽しく聞けました。
・スライドがわかりやすい。接合部分の話等をもっと聞きたかった。
・普段聞けない内容が聞けて有意義でした。

このほかにもたくさんのレポートをいただき、ありがとうございました。今後の参考にします。

編集後記

五十田先生は、「起きているときは、仕事をするか、お酒を飲むか、ゴルフをするかしかありません」とおっしゃっておられました。
これなら我々も同様のようですが、時間配分が相当違うのだと思いました。
また先生は、ご実家の小須戸町に毎月帰省された際に、メンバーコースの湯田上カントリークラブで必ずプレーされ、オフィシャル13だそうです。
ゴルフも教えていただいた方が良いようです。

住・環境委員会　委員長：羽二生　道夫

今年の活動もこのＭＵＴＳＵＢＩの編集で最後になりました。

住・環境委員会の活動の中心は『すまいづくり教室』です。

今年は消費税の値上げが来年に迫っていますので市民の反応が強く、申し込み人数は60人に達しました。皆熱心にメモを取りながら聴講されていましたし、グループトークへの参加者も多く具体的な質問が多く出ていました。事前アンケートへの書き込みも多く市民の意識の高まりも感じられました。

実験装置を使って液状化の説明を行いました

今年の特徴はファイナンシャルプランナーで活動中の山際澄子さんにお越しいただき『借入限度額やローン減税そしてローンの種類』などについてわかりやすい講座を開催していただきました。いままでにない内容を開催できて市民の反応もよかったように思います。

また液状化の実験装置を会場に持ち込みながらの講座では、聴講者が全員前に集まり実験装置を囲みながら行ないました。覗き込みながらの実験でとてもわかりやすい講座になったと思います。

また設備委員会との共同研究で『ZEH：ゼロエネルギーハウス』についての研究を行い、その結果をすまいづくり教室の講座のなかで発表できたのはとてもよかったように思います。近い将来のすまいの形ZEHを市民の皆様にお伝えできたのではないかと思います。

最終回のグループトークでは参加者が多く５テーブルに分かれて話合いが行なわれました。それぞれの家庭の悩み事が話されグループトークならではのプライベートなことが次々と話され盛り上がっていましたが、残念ながら時間切れとなり今年のすまいづくり教室は終了となりました。

若い方から高齢者までの広範囲の年齢層の方々に、新築からリフォームまで住宅建築の基本的な事を短い期間ではありましたがお伝えできたのではないかと思います。

講師の方々にはお忙しい中、貴重な時間を割いて準備をしていただきありがとうございました。大変わかりやすい講座が開催できたと思います。またメンバーが不足だった

事もあり本間総務委員長にもお手伝いいただきました。講師の皆様大変ありがとうございました。

H27 年度 グループトークの様子

業務委員会　委員長：涌井　勝治

前回の「睦び」で委員会活動状況を報告させていただいて以降、平成28年1月末日迄の委員会活動状況を報告させていただきます。

残念なことに平成27年9月以降、委員全員参加の委員会は一度も開催する機会を持てませんでした。
耐震関連業務が、ほぼ終わり新規設計業務委託もなく当業務委員会は開店休業状態になってしまいました。

寂しい限りではありますが、新たな動きもあります。
前回受注した**学校大規模改修設計の工事監理業務を受注するべく特別委員会**を立上げ、組合として工事監理ガイドラインを作成し工事監理業務を通して建築物の品質や性能の確保に資することができるよう発注者に提案しているところです。

資料や検討書を作成いただいている特別委員会の皆様には改めてお礼申し上げます。
また、この取り組みが発注者の、ご理解をいただき業務委託に繋がればと期待しています。

組合も以前の様に待っていれば仕事が受注できる様な時世では無くなり積極的に技術的な提案などを行い業務委託に繋げていくことが求められている様に感じています。

現在進行の委託物件について、担当をお願いしている事務所の皆様には概ね順調に業務が進行していることにあらためて、お礼申し上げますとともに納期が年度内の物件ばかりですので体調を崩さないよう留意され納品日まで頑張ってくださるようお願いしつつ業務委員会報告といたします。

平成26年5月より委員長を務めさせていただき、ほぼ1期2年が過ぎようとしています。
不可ばかりの委員長でしたが、委員の方や役員、事務局の方々、組合員の皆様に助けられて何とか務められた様に思います。
大変ありがとうございました。紙面をお借りして、お礼申し上げます。

構造委員会　委員長：梶井　照仁

今年（2016年）は丙申（ひのえさる）で60年ぶりにやってきました。丙は「明らか」、申は「呻く（うめく）」という意味があり、果実が成熟して固まって行く状態を表しているようです。完熟までは達していないがこれから実が固まって行く（これまでの頑張りが形になって行く）年のようです。

平成28年1月29日（金）に、第1回「構造委員会」を開催し、平成27年度の諮問事項と活動報告の確認および意見交換をしました。（構造委員12名のうち11名出席）

構造委員会の活動内容（諮問事項）
1. 構造設計技術向上のための活動
2. 構造工事監理業務に伴う調査と研究
3. 次世代構造技術者との意見交換会開催
4. 構造関係の相談窓口の設置

平成27年4月1日以降の活動報告

平成27年（2015）
6月5日
天井耐震化に伴う打合せ
6月23日
市組合合同委員会（ホテルオークラ新潟）
6月25日
曽野木団地自転車置場の不同沈下に伴う打合せ
7月30日
黒埼南小学校屋外階段の不同沈下に伴う打合せ
8月31日
旧白根配水塔の現地視察と耐震調査打合せ
9月9日
黒埼南小学校屋外階段の不同沈下に伴う見解を提出
9月29日
味方小学校バスケットボードの構造打合せと
現地視察
11月19日
松浜霊堂の現地視察と耐震調査打合せ
11月26日
組合員講習会（岩室温泉：ゆもとや）

平成28年（2016）
1月29日
構造委員会（第１回）
なお、活動の一部は睦び「№43」および「№44」に掲載されています。

平成27年度の耐震関係業務（2月現在）について、公共建築第1課から市営住宅の補強設計3件（4棟）、市営住宅の工事監理13件（25棟）、公共建築第2課から学校施設の耐震補強関係の工事監理9件、住環境政策課から市営住宅の補強計画2件（5棟）、開発公社から耐震診断1件、水道局から耐震診断1件、以上より、補強計画2件、耐震診断2件、補強設計3件、また、耐震補強関係の工事監理22件、受注件数の合計は29件となりました。一昨年度（89件）、昨年度（54件）に比べ大幅な減少となっております。

ところで、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行されてから約5年が経ちました。公共建築物の大規模木造の設計（木造化・木質化）が発注されつつあります。

以前、タイのパタヤで「サンクチュアリ・オブ・トゥルース（真実の聖域）」を視察してきました。「タイのサグラダファミリア」と呼ばれている巨大木造寺院（写真1～写真4）です。着工から30年以上経った今も工事は継続中です。

写真１（外観１）

写真２（外観２）

写真３（内観１）

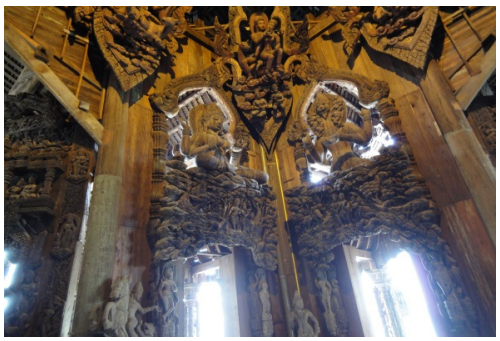


写真４（内観２）

設備委員会　委員長：伊藤　徹

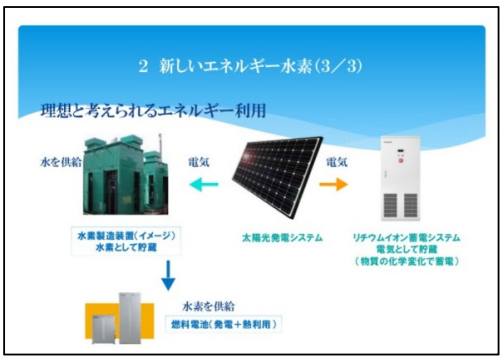
設備委員会では、「水素社会に向かって」というテーマで活動を行い、水素を取り巻く状況や、設備内容等の調査を行ってきました。

大きな項目をⅠ～Ⅲに分けて、委員会メンバーに担当してもらいました。

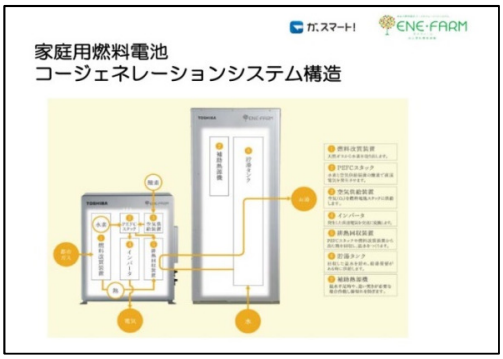
Ⅰ　これからのエネルギー
　１．現在のエネルギー状況
　２．新しいエネルギー水素
　３．政策
Ⅱ　水素社会
　１．概要
　２．製造方法
　３．主な用途
　４．供給・輸送方法
　５．主な課題と取り組み
Ⅲ　燃料電池について

参考までにまとめた内容を少し載せてみました。

・新しいエネルギー水素



・燃料電池の構造
（都市ガスから水素を取出す方式。エネファーム）



※組合HPにも掲載されていますのでご覧ください。

次世代委員会　委員長：斎藤　　学

次世代委員会で1年程前から続けてまいりました『新潟市職員と組合若手社員のワーキンググループ（WG）運営及び研究』について最終報告会を開催しましたのでご報告致します。

最終報告会は1月22日にりゅーとぴあのスタジオAを会場として行い、『新潟市建築計画・設計技術研究会』メンバーの方々、新潟市職員、当組合の皆様、約70名の方にご参加頂きました。その際には貴重なご意見を頂き大変ありがとうございました。報告会では各グループ下記内容について発表を行っており、詳しい内容、資料については組合HPへの掲載を考えております。

最終報告会風景その１

【スペック検討】　公共施設のトイレの仕様研究
～求められているトイレを目指して～

・学校トイレ施設台帳の整備
・公共施設のトイレ計画ガイドブック作成

【ＦＭ】　公共施設の多機能化・複合化の事例研究

・既存公共施設の多機能化・複合化に関するチェックシート作成

【景観】　歴史的まちなみを活用した
地域の活性化について
～南区白根商店街を対象として～

・歴史的建造物の活用案作成
・街並み保全のデザインガイドライン案作成

最終報告会風景その２

根津さんの発表

各グループ共、研究テーマについて現状の問題点把握の為の調査、解決方法の模索、さらに今後の業務へ活用できるガイドブック、チェックシートなどの作成を行いました。しかし、研究としては課題や、さらなる発展ができる部分も残っており今後も継続していければと考えております。

また、今回のWG活動では研究テーマ以外にも『新潟市の為に自分達は何が出来るのか』と言う事について、新潟市職員の方々と共に考え、意見を交換できる良い機会を得られたと感じており、今回築いた関係はこれからも大切にしていきたいと思います。

質疑応答風景

中野さん質疑応答

作品紹介 「 亀田地区コミュニティセンター 」

㈱渋谷建築設計事務所

■ 設 計 趣 旨

亀田地区コミュニティセンターは、亀田地区におけるコミュニティ活動の拠点となる施設です。基本理念「気軽に集えるみんなのコミュニティセンター」などが示された基本構想に基づくプロポーザルで選ばれ、設計することとなりました。

■ 計 画 概 要

・建て替え計画

敷地は旧亀田町役場および隣接する市施設の跡地でした。旧役場をはじめとする5棟の既存建物があり、これらを解体し、敷地造成と道路整備を行い、コミュニティセンターを建設するものでした。

建設する建物内には、会議室、多目的ホール、和室、調理実習室、音楽研修室などの設置を計画しました。

敷地には3m程度の高低差があったため、斜路や排水にレベル計画に配慮が必要で、土木的なことや道路整備などの都市計画的な要素を含む設計でした。

多目的ホール

その他、敷地に至る道路が狭小なため、建物本体を鉄骨にし、杭も小径の鋼管杭を用いることなど、この地ならではの対応が必要となりました。

また基本設計時にワークショップを何度も行い、プロポ当初案を大きく修正した建物となりました。

和　室

＜スケジュール＞

①基本設計（平成24年7月～平成25年2月）

②実施設計（平成25年5月～平成26年2月）

③既存建物解体1期（外壁アスベスト除去）工事
（平成26年1月～平成26年3月）

②既存建物解体2期工事
（平成26年4月～平成26年7月）

③建物本体建設工事
（平成26年7月～平成27年3月）

④外構整備工事
（平成26年12月～平成27年3月）

・配置計画

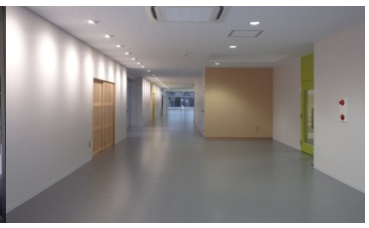
敷地北側に建物を設置し、西側・南側に駐車場を配置しました。車の見通しを考慮して、アプローチは北側道路の凹部からとしました。北側のゆるいカーブの道路は既存より幅員を広げ、並木のある遊歩道としました。道路の北西部分にポケットパークを設け、新設建物の内部を見て取ることができるようにしました。

駐車場は、混雑時には2方向で道路とつながるようにしました。緊急時などには、南側の亀田小学校の駐車場にも出入りできるようにしています。敷地の西側では、既存の高木がある緑地を残し、季節風や西日への対策の一つとしています。

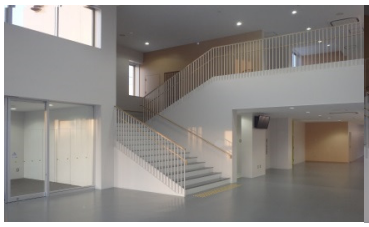
・平面計画

建物西側の風除室から入ると吹抜けの交流ホールがあります。交流ホールには、事務室や階段が面しています。また、建物西側の駐車場と一体的なイベント使用もできるように考えています。交流ホールからは中廊下状のホワイエを通り各会議室へ通じています。

風　除　室



ホワイエ



交流ホール１

交流ホール２

ホワイエは、4mの幅を確保したスペースで、会議室からの人の出入りの混雑を解消することや、ギャラリー展示空間としても利用できるようにしています。建物内部のため、光庭や、ハイサイドライトによる採光を設けています。

１階には、多人数使用の多目的ホールや災害時の炊き出しや防災拠点としても使用を考慮した調理実習室や防災倉庫付会議室、和室を配置しました。和室はお茶会利用や、子育てサークルの利用も考えています。

２階には、防音に配慮した音楽研修室や、社交ダンスができるフローリングの会議室などを設けました。

また、光庭の軸線上には、この地に昔からある松の木を臨むことができるよう計画しました。

光庭１

光庭２

■　建　築　概　要

- 建設場所　　新潟市江南区亀田新明町1丁目地内
- 用途地域　　第一種住居地域
- 防火指定　　指定なし　法22条地域
- 敷地面積　　3,639.21 ㎡
- 建築面積　　965.64 ㎡
- 延べ面積　　1,599.64 ㎡
- 構造規模　　Ｓ造　２階建て
- 主要外部仕上げ
  - 屋　根　　塩ビシート防水S-M2非歩行
  - 外　壁　　耐候性塗料塗
  - 開口部　　アルミサッシ、low-et5+t5
- 主要内部仕上げ
  - 床　　ビニル床シートt2.0、複合フローリングt14直張り
  - 壁　　GB-Ft15+GB-Ft15　EP-G
  - 天　井　　RW-Bt12.5直張り
- 電気設備
  - 受電方式　高圧受変電方式
  - 防災設備　非常照明　非常放送　自動火災報知設備
- 空調設備
  - 冷暖房方式　GHP
- 衛生設備
  - 給水方式　　直接給水
  - 排水方式　　公共下水道
  - 消火設備　　パッケージ型消火設備
  - ガス設備　　都市ガス

■　設計・監理

意匠　　㈱渋谷建築設計事務所
　　㈲丸山建築設計事務所
構造　　㈱NSK建築構造研究所
電気　　涌井電気設備設計室
機械　　涌井電気設備設計室

事務所紹介

（有）山口建築事務所

当事務所は開設して56年目を迎えます。

現在の事務所は、古町8番町を皮切りにビル内移転を含めると7ヶ所目となります。ひとつ前の礎町への事務所移転は、前所長が、事務所の仕事内容の方向転換と、下町で長屋を多く含む街区の活性化を目指しながら、民間再開発事業の達成が目的（前所長の夢）でした。

事務所を含んだ街区の地権者並びに近隣住民と、勉強会を数年に渡り開いておりましたが、残念ながら柳都大橋の幅員が広くなったため、再開発事業計画の敷地が大きく削られてしまい、再開発関連の特例や補助金が見込めなくなり断念するに至りました。

その柳都大橋の広くなった幅員は、事務所の入っていた建物に大きく掛り、現在の下大川前の外れに1階が事務所、その上に自宅を載せた事務所併設住宅を作り移転しました。

早いもので19年経ちましたが、事務所の周りは、信濃川のやすらぎ堤、朱鷺メッセがあり、事務所‘犬’がいた頃は、犬の気の向くまま白山公園までと、散歩には申し分のない環境です。

事務所第１作目の住宅

スタディ模型

今、事務所周辺も新潟島の他の地区と同じように、街並みが変ってきています。2年程前までは、明治後期の北洋サケマス漁が華やかしき頃の水産会社が残っておりましたが、一般住宅の分譲地となってしまいました。庭こそ斎藤邸別邸とはいきませんが、取壊された建物の中には、別邸に匹敵する物もあり、移築保存かなと思っていたら、あっという間に重機で引き倒されてしまいました。地域の変化が起きそうな時、建築家集団である組合に、意見を求められるような集団になる事も、組合の一つの選択肢かと思われます。

今後とも皆様と一緒に頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

趣味のひろば　松田建築設計事務所　松田　道佳

わたしの趣味は「ベースボール」です。
子供の頃からボールを持ち、一人で朝から夕方、暗くなるまで遊んでいました。時には兄たちから三角ベース野球に入れてもらえることもありましたが、身体が小さくレベルの差があり、すぐ誘われなくなりました。
その後、小学3年生くらいから狭い空き地で、友だちと軟式テニスボールで三角ベース野球をするようになりました。このテニスボールのいいところは、いろんな変化球が投げられ、打つことが面白くなってくるところで、反対に三振すると悔しくて涙が出そうになったものでした。
そのうちにその三角ベース野球に上級生が混じるようになり、負けることが多くなりました。その頃の野球道具は満足なものはなく、バッドは木片、グローブなしで毎日野球をしていた記憶が鮮明にあります。
小学5、6年の頃には試合、練習を大人と一緒にすることもありましたが、その辺から負けたくないという気持ちが強く湧くようになった気がします。
中学では迷わず野球部に入部しました。4月に新入生の80人くらいが野球部に入部しますが、その全員が外野後方の松林の中を1m間隔に配置され、毎日夜遅くまで球拾いやしごき等を受けます。それが原因で退部する人も多く、8月には80人いた新入部員も半分くらいになりました。

憧れの明治神宮球場

中学時代の練習で非常に大変だったことが、今思い返すと３つほどあります。
〇練習後のボール確認で1個でも足りないと、1時間の正座を強いられました。非常につらく、終わった後立つことが困難で、這いつくばって教室に帰った覚えがあります。
〇訳も分からない理由で海岸線絶壁（45～50度）40m余りの距離を往復10回するように言われました。登るときは手で砂をかくので爪の間は砂だらけ、下りは勢いがつき途中何回か転げ落ちて身体中砂だらけ、今思えばよく怪我をしなかったなと感心しています。
〇夏休み、練習を終える頃に高校生になった部活のOBの先輩2人が突然やってきて、「うさぎ跳びでグラウンド10周しろ！」と命令。もうすでにヘトヘトの体で出来る訳がない、内心お前たちがやれと叫びながら、それでも転んでは起きを夢中で繰り返しました。そしていつの間にか暗闇の中、迷惑な2人の先輩は忍者のごとく、姿を消していました。また、その2人の先輩は高校の野球部を退部したとのことでした。
野球を通じて大変だったことはもちろん、楽しかったこと嬉しかったこともたくさんあり、それらを経験できたからこそ、今の忍耐力・精神力に繋がっているように思います。

皆さんでスタート

現在は、野球・ゴルフ・ランニングと楽しみながら練習をしています。
ゴルフは40～50歳までは、年に数回しかプレー出来ず、ハンデキャップが24あたりを上ったり下がったりでさほど面白いとは思いませんでしたが、20を切るころには球の当てる場所によって微妙な違いを出せるようになってきました。今日いいスコアが出ても、次はどうなるか分からないのがゴルフだと思い、そのギャップがまた楽しい、面白いと感じています。

野球は、協会親睦野球大会に参加し、頑張りたいと思っています。
最後に辿り着くところは「練習」でした。
好きな言葉「練習は嘘をつかない」「継続は力なり」です。

憧れのエコスタジアム

表紙紹介

フィンランドの首都ヘルシンキに建つアルヴァ・アアルト（1898～1976）が晩年の頃に使用した事務所（1955～）です。そこを2008年に訪ねた時の写真です。

都心から路面電車に乗り緑の多い静かな住宅街に向かいました。地図の上ではこの辺なのですぐにわかると思いましたが、看板もなく行ったり来たりとうろうろする始末でした。やっと白く塗られた煉瓦作りの塀に小さな黒い表札を見つけ近くに寄って見るとそこには『ALVAR AALTO』と書かれていました。道路からは下り斜面になっていた為に事務所の大きさは感じませんでしたが、中に入ってみるととても大きな事務所でした。模型製作用のスタジオがありフランスのカレに建つ別荘の模型や、特注の照明器具の見栄えや明るさの実験ができるようになっていました。この事務所からアルヴァ・アアルトは晩年の大作を次々とこの世に送り出していたようです。

この写真の部屋は階段を下りた半地下にある所員の為の食堂です。20人位は同時に食事ができる大きさで、写真の手前には専用のキッチンがあり温かい食事が所員の為にふるまわれていたと思われます。天井の照明は裸電球を大きな布で覆い、暖かなやわらかい明りで部屋全体を包みこんでいます。

天井の低い部屋でしたが落ち着いた雰囲気とゆったりとした光のある部屋で、食事と休憩にぴったりのアアルトのやさしさが感じられるとても印象に残る建物でした。

表紙撮影（2008年）：住・環境委員会　委員長　羽二生　道夫

編集後記

編集後記の為、挨拶は省略させて頂きます。

ウインタースポーツを楽しんでいる方には申し訳ないのですが、ようやく雪も溶け、暖かい日差しを感じられるようになってきました。今年も皆様と一緒に、体を動かす事が出来ることを楽しみにしております！

今回の睦び編集も、委員長　羽二生さん、事務局　高橋さんで音読をしました。やはり複数人体制で行う事により、誤字脱字がほぼなくなるように思います。余談としましては、「諮問」が読めずに聞いてしまいました。
※諮問（しもん）：有識者または一定機関に、意見を求めること。（某サイトより）
ネットが普及しているので、辞書を引くことがあまりないのは少々寂しい気もします。

住・環境委員会では、睦びの表紙写真を随時募集しております。 匿名とすることも出来ますので、事務局までお気軽にお送り下さい。

編集後記：住・環境委員会　委員　木下　裕貴